



# 楓の誉

R6.12.16(第9号)  
文責：高田 幸伸

## 「熊日賞」を受賞しました。～2024 熊日新聞コンクール～



十一月十八日(月)、「二〇二四 熊日新聞コンクール」中学新聞の部」の審査が行われ、三年生が出品した「桜道」が見事「熊日賞」に輝きました。三ページにわたる大作で見る人たちの心の奥底に届く作品となりました。

選評には「ハンセン病問題学習を通して、菊池恵楓園の入所者の方々との交流を題材に選び、現地での取材や入所者の方々の思いを大切にしている、よく考えられた記事だと思いました。」

「新聞づくりをしっかりと学び、高い技術で編集し、編集者一人一人の読み手に伝えたいという思いが紙面上に表現されている。」「恵楓園の全図や写真も使用したレイアウト、見出し、テーマ、内容とずば抜けた出来栄でした。三ページにわたる紙面は初めてではないでしょうか。読みごたえがありました。製作者の意欲と問題意識が紙面の隅々にまで感じられる作品でした。」など絶賛されています。

光永先生をはじめ三年部の先生方のご指導、そして様々な取材、記事の構成や作成など懸命に取り組んだ生徒たち、すばらしい実践をありがとうございました。

### 修学旅行に行ってきました。

家族をはじめ様々な方々に感謝して

十二月八日(日)～十日(火)の二泊三日で、広島・関西方面への修学旅行を行いました。

今回の修学旅行のテーマは「継承」、「現地で学んだ歴史や平和への思いを後世に繋いでいく」とともに、仲間と協力し、思い出



【↑ 馬場由美子様との再会】



【↑ 班別自由行動出発の様子】

廃絶への思いを確認し京都へ向いました。

二日目は、班別自由行動で京都市内を一日かけて散策しました。歴史のある京都の風景をメンバーとともに堪能した一日でした。

三日目は、奈良公園で東大寺見学、薬師寺でお坊さんによる講話を聴きました。

今回の修学旅行の最後に学年主任から「今回の修学旅行については、旅行代を出していただいた保護者、そして添乗員さん、ホテルの方たち、実行委員会や各係の生徒たち、そして先生方など様々な人たちに支えられている。自宅で旅での話をするのが感謝することになる。」とまとめがありました。朝早くから、準備や送迎等していただきありがとうございました

保護者の皆様には心より感謝申し上げます。



【↑ 盧舎那仏を見上げる様子】

※学交生舌の蒙子や様々な情報は、本校HPに随時、掲載しています。



学校HPのQRコード